

# 弱溶剤 2液高付着浸透形ハイブリッドエポキシシーラー ファインパーフェクトシーラー

FINE  
PERFECT  
SEALER



付着が難しいサイディングボードに対応。  
モルタル、コンクリート、木部、スレート屋根など  
マルチに使える高機能シーラー。

■ 特長 現場にこれ1本あれば安心の高機能シーラーです。

## 1. 多用途

無機、有機ハイブリッド技術により開発された特殊樹脂の効果により、従来のモルタル、コンクリート、木部、スレート屋根に加え、サイディングボードや鉄部等あらゆる素材に幅広く対応します。

※下記適用下地以外のものは対応できない場合があります。

## 2. 浸透+高付着

下地に対して高い浸透性と含浸補強性を持つとともに、高い付着力が発現します。(当社比)

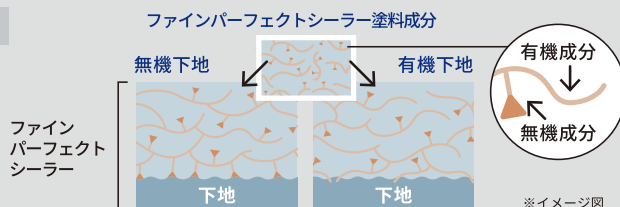
## 3. 高意匠サイディングボード対応

これまで無機や親水表面処理が施された高意匠サイディングボードでは、下地の活性状態によって、下塗りシーラーの付着性が十分に発揮されないケースがありました。  
ファインパーフェクトシーラーは窯業系サイディングボードの種類・表面の活性状態に付着性が左右されず、各種外壁材に対応可能です。

※高意匠サイディングボードとは新築時に「高耐候」や「超低汚染」の目的で無機成分により表面処理された意匠性の高いサイディングボードを指します。  
一般的な下塗り塗料では、付着性を十分に確保しにくいことで知られています。

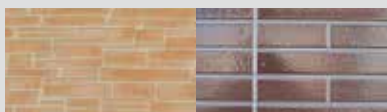
### 無機・有機、両下地対応のメカニズム

無機下地には無機成分が、有機下地には有機成分がそれぞれ付着することで、幅広い下地に対応できます。



※イメージ図

### サイディングボードの意匠と種類の例



窯業系サイディングボード  
(高意匠)



窯業系サイディングボード  
(シンプルデザイン)



金属系サイディングボード

## 4. 適用下地と使用量目安

| 無機系素材     |           |       |                |      |     |           |     |            |     | 金属系素材 |         |        |                    |                   |          | 有機系素材 |      |    |
|-----------|-----------|-------|----------------|------|-----|-----------|-----|------------|-----|-------|---------|--------|--------------------|-------------------|----------|-------|------|----|
| 押出成形セメント板 | サイディングボード | 磁器タイル | モルタル<br>コンクリート | ブロック | PC板 | けい酸カルシウム板 | ALC | 住用化粧スレート屋根 | GRC | 鉄部    | 電気曲鉛めっき | カラータタン | アルミニウム<br>(A1050P) | ステンレス<br>(SUS304) | ガルバリウム鋼板 | FRP樹脂 | 硬質塩ビ | 木部 |
|           |           |       |                |      |     |           |     |            |     | ※1    | ※1      | ※1     | ※1                 | ※1                | ※1       | ※2    | ※2   | ※3 |

使用量目安: 0.05~0.12kg/m<sup>2</sup>/回      使用量目安: 0.15~0.30kg/m<sup>2</sup>/回

★各種旧塗膜にもご利用いただけます。

★上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、使用量・塗り回数を調整してください。

注) 大理石、金属光沢を有するラスタータイル、はっ水処理を施した素焼きタイル、グラファイトを施したいぶしタイルなどの特殊なタイルには付着しにくいので、試験塗装にて付着性を確認してください。  
れんがタイル・素焼き風タイルへの施工は避けてください。その他、特殊なタイル面への施工については、別途ご相談ください。

※1 金属系素材などを塗装する場合は、入念な面荒らしを行ってから施工してください。さびが発生している場合や腐食環境の厳しい環境では防錆性の高いさび止め塗料を使用してください。

※2 有機系素材などを塗装する場合は、入念な面荒らしを行ってから施工してください。

※3 木部はホワイトシーラーのみの適用となります。

塗料性状・荷姿・塗装方法

| 塗料名                | 色相              | つや | 容量                          | 希釈剤    | 希釈率 | 使用量(kg/㎡/回)  | 塗装方法                |
|--------------------|-----------------|----|-----------------------------|--------|-----|--------------|---------------------|
| ニッペ ファインパーフェクトシーラー | 透明(淡褐色)<br>ホワイト | —  | 15kgセット(塗料液12.5kg・硬化剤2.5kg) | 無希釈 ※1 | —   | 0.05～0.30 ※2 | はけ・ウールローラー・エアレススプレー |
|                    |                 |    | 6kgセット(塗料液5kg・硬化剤1kg)       |        |     |              |                     |

※1.少しでも希釈すると性能が低下します  
※2.前ページの各素材での使用量目安をご確認ください。

適用上塗り塗料・適用下地

| 適用上塗り塗料    |                                                        |                                        | 適用下地 |                                                 |                                                                             |
|------------|--------------------------------------------------------|----------------------------------------|------|-------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|
| 内外壁<br>付帯部 | ●パーフェクトトップ<br>●パーフェクトセラミックストップG<br>●パーフェクトトゥルーマット      | ●ファインパーフェクトトップ<br>●パーフェクトトップローズ        | など   | ●モルタル面<br>●窯業系サイディングボード<br>●コンクリート面<br>●ALCパネル面 | ●付帯金属面<br>●ステンレス<br>●電気亜鉛めっき<br>●アルミ<br>●FRP<br>●木部<br>●金属パネル外壁<br>●各種旧塗膜の上 |
| 屋 根        | ●ファインパーフェクトベスト<br>●パーフェクトクラーベスト(パーフェクトクラーサーフの組み合わせにより) | ●ファインパーフェクトルーフ<br>●ファインパーフェクトセラミックスベスト | など   | ●住宅用化粧スレート屋根                                    |                                                                             |

※上塗りには強溶剤系塗料は使用禁止 ※上記以外の上塗り塗料につきましては最寄りの営業所までお問合せください。  
※適用下地について詳しくは表面をご覧ください。

乾燥時間・ポットライフ

|        | 5～10℃     | 23℃       | 30℃       | ポットライフ   |
|--------|-----------|-----------|-----------|----------|
| 指触乾燥   | 3時間       | 50分       | 30分       |          |
| 塗り重ね乾燥 | 8時間以上7日以内 | 4時間以上7日以内 | 4時間以上7日以内 | 6時間(23℃) |

※乾燥時間は目安です。使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。  
※高温下では硬化反応が著しく速まります。高温時の施工では、上塗りを3日以内に塗り重ねてください。

施工上の要点と注意事項 ※詳細な内容については、各製品の製品使用説明書などにてご確認ください。

1.被塗面の洗浄やエフロレシエンスの除去に酸性洗浄剤・アルカリ性洗浄剤などの薬剤を用いる場合、薬剤洗浄前に被塗面に十分に水を含ませてください。薬剤洗浄後の水洗工程は、高圧水洗もしくはブラシなどを用いて入念に行ってください。薬剤が壁面に残存したまま本品を塗装しますと塗膜の縮み、白化、はく離を起こすおそれがあります。水洗後、塗装面のpHを確認する場合は、pH試験紙を塗装面に押し当てて測定してください。2.使用量は、濡れ感が出るまでを目安にしてください。素地への吸い込み個所がある場合は、その部分を増し塗りしてください。また、シーラー乾燥後ガムテープで基材のはがれがないかチェックし、はがれなどがある場合は再度シーラーを塗装してください。3.吸い込みが少ない素地や下地の場合には、乾燥不良による縮みや膨れが起こる可能性がありますので、各工程間の乾燥時間は十分長めにとってください。4.鉄、アルミニウム、電気亜鉛めっきなどを塗装する場合は入念な面荒しを行ってください。さびが発生している場合や、腐食環境の厳しい環境では防錆性の高いさび止め塗料を使用してください。5.屋根面の金属素材には使用しないでください。6.蓄熱されやすい建材（軽量モルタル、ALC、窯業サイディング、発泡ウレタン使用建材など）を使用した「高断熱型外壁」で、旧塗膜が弾性リシン、弾性スタッコ、アクリルトップなどの場合、塗り替え段階ですでに旧塗膜が膨れていることがあります。そのまま塗装すると膨れがさらに拡大する可能性がありますので、完全に除去してください。また「高断熱型外壁」に塗装する場合は、蓄熱、水分、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、建材の変形、塗膜の膨れ、はく離が生じることがありますので、最寄の営業所などにご相談ください。7.塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85％以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。8.さび汁などがある場合は、サンドペーパーで除去してください。9.吸い込みやすい基材では使用量が多くなります。10.FRP、塩ビに直接塗装する場合は、下地調整（目直し）を実施してください。厚肉硬質塩ビなど素材の種類により非常に付着し難い素材の場合がありますので、あらかじめ試験塗装を実施し付着性を確認してください。11.経年したサイディングボード面への塗装は、劣化が進行しており、表層内劣化部からはく離するおそれがあります。試験施工をおこなって付着性を確認してください。12.押出成形セメント板（アスロック、メースなど）におきまして、弱溶剤系シーラーとニッペリシンの組合せによる仕上げをする場合、シーラーの乾燥が不十分であると割れ、はく離などの問題が起こる場合があります。ニッペリシン仕上げの場合は、シーラーにニッペ1液ファインパーフェクトシーラー・ニッペ浸透性シーラー（新）をご使用ください。13.本品を塗装する場合は、上・中塗りの分けや塗り残しのないようにご注意ください。また当たり傷などにも注意してください。14.劣化の著しい外部木部については、表層剥離の恐れがありますので、施工は避けて下さい。23.吸い込みの少ない素材にはシーラーがタレやすくなるのでご注意ください。被塗物に汚れが多く残存すると付着低下のおそれがあるため、施工前は十分水洗してください。24.溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気を行ってください。また、外部での塗装においても、換気口・空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居

住者へのご配慮をお願い致します。25.硬化が不十分な場合は、シンナーで再溶解する場合があります。26.水、アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください。27.塗料を扱う場合は、皮膚に付着しないようご注意ください。また、蒸気やミストなども吸い込まないように十分にご注意ください。28.旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこなうおそれがあります。29.既存塗膜のはく離個所は、既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。30.改修工事にご使用の場合は、旧塗膜の種類によっては溶剤などの影響により、旧塗膜を侵し溶剤膨れや縮みなどの異常が発生する場合がありますので、旧塗膜の種類をご確認のうえ、塗装仕様をご検討ください。31.シーリングの上に、劣化、ひび割れなどの損傷がある場合は、打ち直しをしてください。32.タイル面の洗浄に使用する薬剤が塗装面に付着すると、変色や早期劣化などを生じることがありますので、このような場合には薬剤が付着しない様に塗膜面の養生を行なってください。33.素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10％以下（ケット科学社製CH-2型で測定した場合）、または5％以下（ケット科学社製Hi500シリーズ：コンクリートレンジで測定した場合）の条件で塗装してください。34.素地の乾燥は十分に行ってください。35.表面のごみ、ほこり、エフロレシエンス、レイタンスなどは除去し、目直し、ジャンカ、コールドジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑にしてください。36.ALC面、多孔質下地、コンクリートブロック面など外部の素地において巣穴や段差などがある場合は、樹脂入りセメント系下地調整材（ニッペ1材カチオンフィラー、ニッペ1材フィラー＃200）などで処理してください。（合成樹脂エマルジョンパテの使用は避けてください。）37.塗料液と硬化剤の混合割合は、必ずまもってください。混合割合が不適切な場合、塗膜性能が発現されなかったり、仕上がりや作業性が低下することがあります。38.屋外での塗装は降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。39.塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。40.塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分にを行い、火気厳禁にしてください。41.飛散防止のため必ず養生を行ってください。42.シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離などの不具合を起こすことがありますので、原則として行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペフリードオフプライマーを下塗りすることで、可塑性移行による汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起こることがあります。43.笠木、天端など長時間水が滞留する個所では塗膜の白化、膨れなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。44.汚れ、さびなどにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。45.クロスの上の塗装は避けてください。46.ローラー、はけなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、はきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用にしてください。47.可塑性が多く含まれる塩ビクロス、塩ビソル鋼板、塩ビラミネート、プラスチック、ゴムバックシ、合成皮革などへの直接塗装はお避けください。また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようにご注意ください。48.平滑仕上げや鏡面仕上げの場合は、素材や素地の状態によって、吸込みや巣穴によるピンホール、凹凸などを防止するため、パテ工程や研磨工程が必要になる場合があります。49.上塗りに強溶剤系塗料のご使用は避けてください。50.塗料は内容物が均一になるようにかくはんしてください。特につや調整剤では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かくはん機を用いて缶底の沈降物を十分にかくはんしてご使用ください。51.開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから暗所で保存し、速やかに使い切ってください。52.塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。53.内容物／容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。54.塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理してください。容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがあるため、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

■本カタログ掲載商品の詳細な危険有害性情報や使用上の注意事項等については、安全データシート(SDS)をご参照ください。■本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は、事前に相談ください。

日本ペイント株式会社

北海道支店 ☎011-370-3101

東北支店 ☎022-232-6711

関東支店 ☎03-5479-3614

北関東信越支店 ☎03-5479-3614

中部支店 ☎052-461-1960

近畿支店 ☎06-6455-9608

中国支店 ☎082-281-2180

四国支店 ☎0877-56-2346

九州支店 ☎092-751-9861

お家のカラーコーディネートガイド

無料メールマガジンの読者募集





カタログNo.  
NP-C100  
240607T  
2024年6月現在

●本カタログの内容については予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。  
●本カタログ中の商品名、ロゴマークは、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。  
●Copyright © 2024 NIPPON PAINT CO., Ltd. All rights reserved.  
●日本ペイントホームページ <https://www.nipponpaint.co.jp/>